



県章

周囲は富士山と武田菱で美しい郷土を象徴しており、中の凧は3つの人文字で山梨の山を形どり、和と協力を表現しています。

(昭和41年10月1日告示)



県旗

優雅なぶどう色を地に用い、中の凧は県民の和と協力を、周りの富士山は清廉、潔白、純粹性を表しています。曲線化した富士山は流動感を表し、県民の無限の向上を願ったものです。

(昭和41年12月1日告示)



県の花[フジザクラ]

4月から5月にかけて、富士の裾野を彩ります。木はあまり大きくなりず、花びらも小型で下向き加減に開きます。厳しい富士の風雪に耐えて、つつましくやかに咲く花は、「和と忍耐」を表しています。

(昭和29年制定)



県の鳥[ウグイス]

春を告げる鳥として、昔からみんなに愛され親しまれています。里にも奥山にも生息し、他の鳥のひなを育てるという優しい習慣を持っています。このことから、「明朗と慈愛」を表しています。

(昭和39年6月制定)



県の獣[カモシカ]

日本特産の特別天然記念物に指定されており、本県では、南アルプス、奥秩父、富士山、三ヶ峠などの山岳地帯に生息します。高山の厳しい自然に耐えて生きていくことから「忍耐・努力」を表しています。

(昭和39年6月制定)



県の木[カエデ]

一般的には、葉は緑色で、秋、霜をうけて美しく紅葉します。本県の山などを美しく彩るそのさまは、「山々の男ぶり見よ甲斐の秋(虚子)」などと詠まれています。

(昭和41年9月制定)



[山梨県] 県名の由来

山梨、八代、巨摩、都留の4つの郡からなる甲斐の国は、明治4年11月、廃藩置県で「山梨県」となりました。「やまなし」の由来は、果物のヤマナシがたくさんとれたから、山をならして平地にした「山ならし」からきているなどいくつかの説があります。

平成24年3月発行 編集・発行:山梨県広聴広報課
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1 ☎055-223-1339



この印刷物は環境にやさしいVOC(揮発性有機化合物)成分フリーの植物油型インキを使用し印刷しました。

印刷:(株)サンニチ印刷

Yamanashi
Facts